

平成28年度 南アルプス市立大明小学校関係者評価書

第1回 学校関係者評価委員会

- 1 実施日 平成28年9月2日（金）午後7時30分～午後9時00分
- 2 会場 大明小学校校長室
- 3 参加者 学校関係者評価委員
石田敏枝（委員長） 市川和男 川口裕人 小松ゆかり
杉山由貴子 望月孝一（敬称略・順不同）
学校職員
堀内 訓（校長） 保坂廣樹（教頭）
米山茂雄（生徒指導担当）
- 4 学校から提案された内容
 - ① 学校経営について（校長）
 - ② 学校の自己評価について説明
 - 教職員による自己評価（教頭）
 - 保護者アンケート（教頭）
 - 児童アンケート（教頭）
- 5 協議されたおもな内容
 - ◎ 教職員による評価、児童アンケート、保護者アンケート結果についての考察
- 6 協議の場に出された意見等

【教職員評価についての概要説明】

- ・**教育目標**について（本校の教育目標及び指導重点については、生きる力を育成することを目標としています。また、学校教育目標などが、児童・保護者に理解されるように配慮されているという設定で、昨年度より向上が見られました。）
- ・**教育課程**について（道徳教育は、2学期にふれあい道徳の取り組みがあります。その機会を中心に、道徳の授業や教育活動全体を通して指導していくことを常に意識していきます。）
- ・**家庭・地域社会との連携**について（学校ボランティアの方に授業協力していただき、大変効果が上がりました。また、登下校の見守り隊の方々の毎日の安全確認により、地域で子供たちが見守られ、安全が確保されています。

【保護者アンケートについての概要説明】

- ・<全般考察>全ての設定についてA評価及びB評価の肯定的評価が80%以上でした。さらに、9つの設定が90%以上でした。また、昨年度は2問が70%台でしたが、今年度、70%台はありませんでした。この結果より、大明小学校の教育活動について、保護者の御理解や御協力、地域の方々のご支援をいただいたことは、誠に心強く、それが今回の結果につながりました。
- ・<学校経営・学校運営について>地域文化の伝承（大明小ばやし）は、今年も5年生から4年生への演奏やしどうや引継ぎを行いました。11月に行われる文化発表会での4年生の演奏が楽しみ

です。また、本校の特色である縦割り班活動も、自己肯定感を向上させてくれると期待しています。

- ・ <子供の様子について> これからも、子供の様子を家庭に伝える努力をしていきます。連絡帳や電話での連絡だけでなく、ホームページの更新を確実にを行い、開かれた信頼される学校づくりに努力していきます。

【児童アンケートについての概要説明】

- ・ 「いつも楽しい」「だいたい楽しい」と肯定的な回答が88%で、昨年の同時期とほぼ同じ値になっています。また、今年の具体的な行動目標（そうじができる子）については、87%の子供達が「できた」と答えてくれました。

【話し合いで出された御意見等】

- ①読み聞かせや安全パトロールを行っていますが、落ち着いて生活を送っていると思います。また、夏休みのラジオ体操も参加者が多かったです。校長先生や教頭先生が地域のラジオ体操に参加してくれて、良かったです。
- ②大明小ばやしは子供たちも張り合いを持って取り組んでおり、子供たちが変わる良い取組です。大明ばやしを通して子供たちの飛躍的な成長を感じる。これは素晴らしい伝統なので、つなげてほしいです。
- ③今、学校は大変、子供たちは遊びの中で育つのだが、ほとんど奪われている現状である。先生たちも工夫して子どもたちとふれあっている。また、提出書類も多く、データ作成や学力テストの結果にも目が行く。大明小学校は（どの学校でも同じだが）全部に対応をしています。
- ④運動会では縦割り班で関わっており、6年生が1年生を指導することもある。上級生の意識も向上していくと思います。
- ⑤2学期からは、もっとあいさつ運動に力を入れて、児童・教師・保護者（PTAの役員さん）とも連携したあいさつ運動を計画し、実践していきます。
- ⑥大明小学校では、そうじの時間に{師弟同業}で、そうじを教師も子供達と一緒にしています。「そうじができる子」も今年の具体的な行動目標の1つです。
- ⑦これからも、大明小学校の伝統である<学校応援団活動>の充実をおねがいしたいです。

貴重な御意見、ありがとうございました。

評価書作成責任者

関係者評価委員会委員長

石田敏江